

パソコンが苦手？
でも大丈夫！

あらゆる人に優しい ユニバーサルデザイン

脳トレや長期的な健康管理にも活用できます

- ✓ 難しいキーボード操作はありません
- ✓ その場で評価結果が分かり、プリントも可能です
- ✓ タッチパネルにペン入力・指入力だけで簡単に操作できます
- ✓ 検査データは本体に記録・蓄積されるので、端末上でデータ管理が可能です
- ✓ 設問は女性のナレーションで、丁寧に読み上げています
- ✓ 各設問に制限時間が設定され、最後まで1人で検査可能です

認知症の早期発見・ 予防のために

国際特許申請中

キャットスマート

CAT-smart™

cognitive assessment test

医療現場から生まれた「総合的認知機能評価支援システム」

設問は全て
選択式

タッチペンで
簡単操作

1人で
操作可能

高精度診断を
短時間で

総合的認知機能評価支援システム

CAT-smart™

本体 専用タブレット
基本OS Windows10
付属品 タッチペン
オプション ヘッドホン/イヤホン/カラープリンター (A4)

※ 製品の仕様は、改善のため予告なく変更する場合があります。

監修 重松 一生 (独立行政法人 国立病院機構 東京都病院)
特許出願 発明者: 重松 一生 (独立行政法人 国立病院機構 東京都病院)
出願人: 公益財団法人ヒューマンサイエンス振興財団
(特願2018-561345・国際出願PCT/JP2018/000085)

認知症の早期発見・予防のために。 簡単に高精度な認知機能評価システムを。

キャットスマートは、国立病院機構の専門医チームが長年の診断経験・診断データに基づき、独自に構築した「認知機能評価プログラム」を実用化。高精度で有用性の高いプログラムで、検査の手間も時間も短縮しながら、従来にない詳しい検査が可能になりました。

認知症リスクを 6つの領域別に評価

21群65問の設問
独自のプログラムで測定



21群・65問の設問を独自のプログラムで測定し、認知機能の6つの領域ごとに、評価を算出します。

回答時間は10分以内

設問はすべて選択式。タッチパネルにペン入力または指入力で簡単に操作でき、全自動でお1人で最後まで検査を終えることができます。従来の、問診による診断時間や考察時間の短縮にもつながります。また、端末内にシステムが実装されているので、通信回線は不要。どこでも検査が可能です。



基礎疾患別の リスク評価が可能に

認知症の原因となる基礎疾患は多岐に渡り、その基礎疾患によって症状や対応・治療方法、進行度合いが異なります。認知症全体に対して画一的な評価が行われる従来のツールとは異なり、キャットスマートは基礎疾患ごとのリスク算出・評価を可能にしました。

基礎疾患別の早期発見が可能となり、診断後の進行予測や対処方法など、認知症診断をより効果的に支援します。

評価対象となる基礎疾患

- アルツハイマー型認知症
- 脳血管性認知症
- レビー小体型認知症
- パーキンソン認知症複合
- 前頭側頭型認知症
- 皮膚基底核変性症 ●脳炎(後遺症)
- 代謝性脳症 ●正常圧水頭症

医療・福祉・サービスの現場ですぐに使える 機能が充実

01 選べる評価コース

高精度診断 (問診・評価コース)

問診(プロフィール)を医療従事者等が入力した上で評価に入る、高精度診断支援コース。

簡易診断 (評価コース)

医療従事者等による簡単なプロフィール入力だけで評価に入る、簡易診断支援コース。

セルフチェック

個人情報を入力無しで評価に入るセルフチェックコース。医療機関以外の公共機関・福祉施設でも利用可能です。

02 安全運転 能力評価も可能

一般的な記憶・計算など単純な設問だけではなく、各項目において回答時間内に正答できたかどうかを記録することで、問題処理能力まで測定。総合的な「自動車安全運転能力」の評価が可能です。



03 レーダーチャート による結果出力

評価結果をレーダーチャートにて「見える化」。その場で結果が見え、プリントも可能です。



被験者用



管理者用

04 記録と経過観察 が可能

検査データが本体に記録され、複数回の検査結果を比較できます。経過観察だけでなく、定量的評価や進行予測にもつながります。

05 認知症以外の要因にも配慮

各設問に対し「分かりません」という選択肢が用意されています。「分かりません」の選択頻度や、その設問内容を分析することで、認知症以外の要因(うつ・心因性反応)などの影響程度を考慮に入れた診断が可能に。認知症としてのリスク算出の精度を高めています。

